

# 電子入札コアシステムの概要

電子入札コアシステムシンボルマーク



〔もくじ〕

1. 電子入札コアシステム
2. 電子認証

この説明資料は平成15年度から利用する新システム用です。現在の電子入札システムとは異なりますので、ご注意ください。

また、本説明書は平成15年1月現在のものです。今後、内容について変更が生じる場合があります。

最新の情報については、国土交通省及びe - BISCセンターホームページ等でご確認下さい。

平成15年3月19日

(財)日本建設情報総合センター  
電子入札コアシステム開発コンソーシアム

# 1 . 電子入札コアシステム

# 電子入札コアシステムとは

## コアシステムとは

複数の公共発注機関に適用可能な汎用性の高い電子入札システム

## コアシステムの目的

### 入札参加企業の混乱防止

電子入札システムが乱立すると、入札参加企業はそれぞれのシステムに対応することが必要になり、対応のための労力、コストの増大を招くこととなります。コアシステムという統一システムを採用することで、入札参加企業の負担も大きく軽減されます。

### システム開発費の縮減

各公共発注機関が独自の電子入札システムを開発すると、その開発コストのトータルは膨大なものになります。コアシステムの採用により、システム開発の重複投資を回避することができます。

## 実現方法

電子入札コアシステム開発コンソーシアムによる仕様の検討に基づきJACICとSCOPEが共同で開発・提供

### 電子入札コアシステム



電子入札システムにコアシステムが採用されているかどうかについては、各発注機関にお問い合わせ下さい。

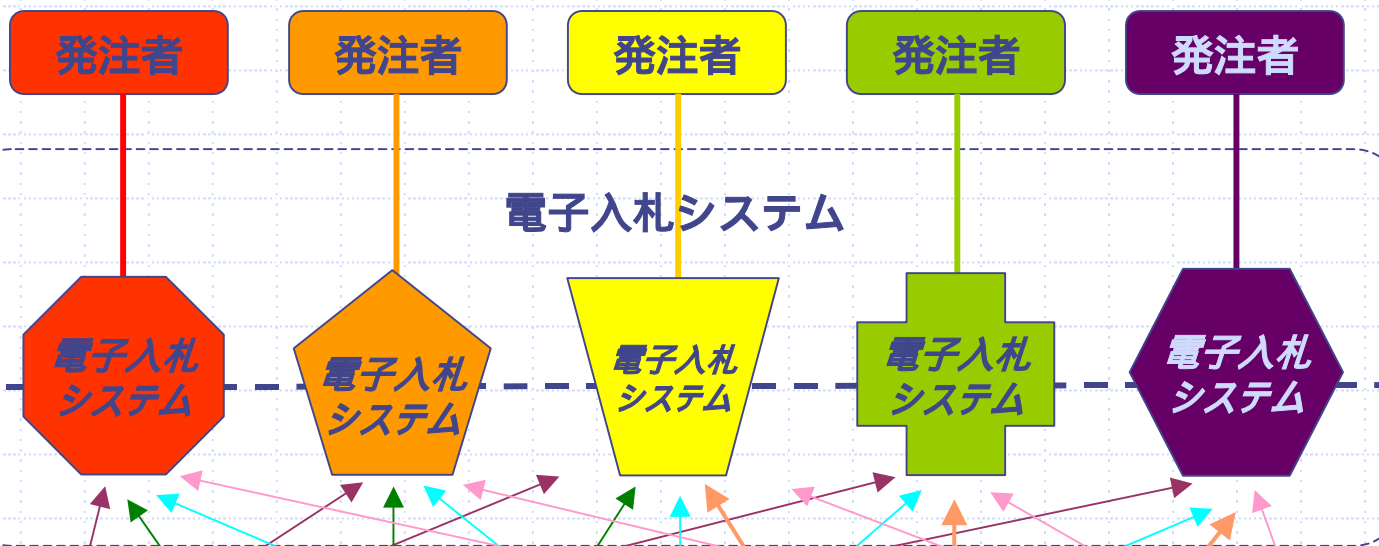
尚、コアシステムを採用している電子入札システムには上記のマークが付いています。

# 電子入札システム標準化の必要性

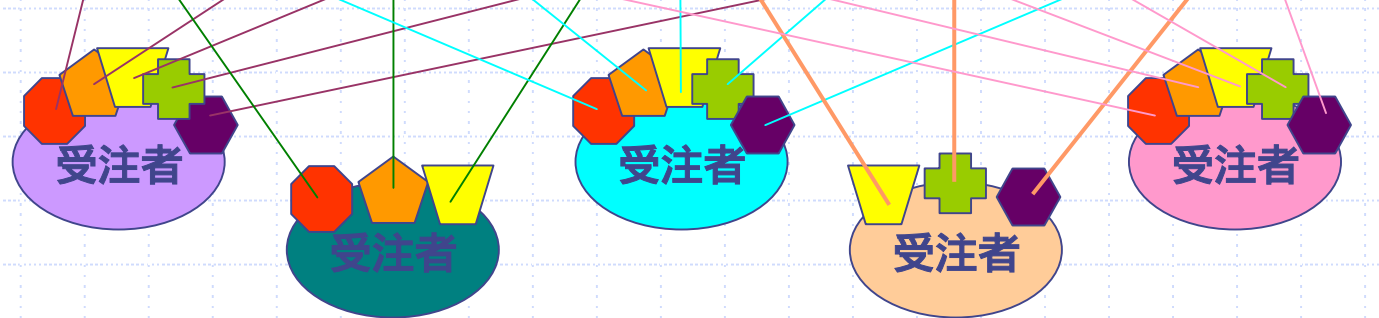
(乱立した電子入札のイメージ)

独自開発による開発費・維持費増大 → 重複投資

発注者



受注者

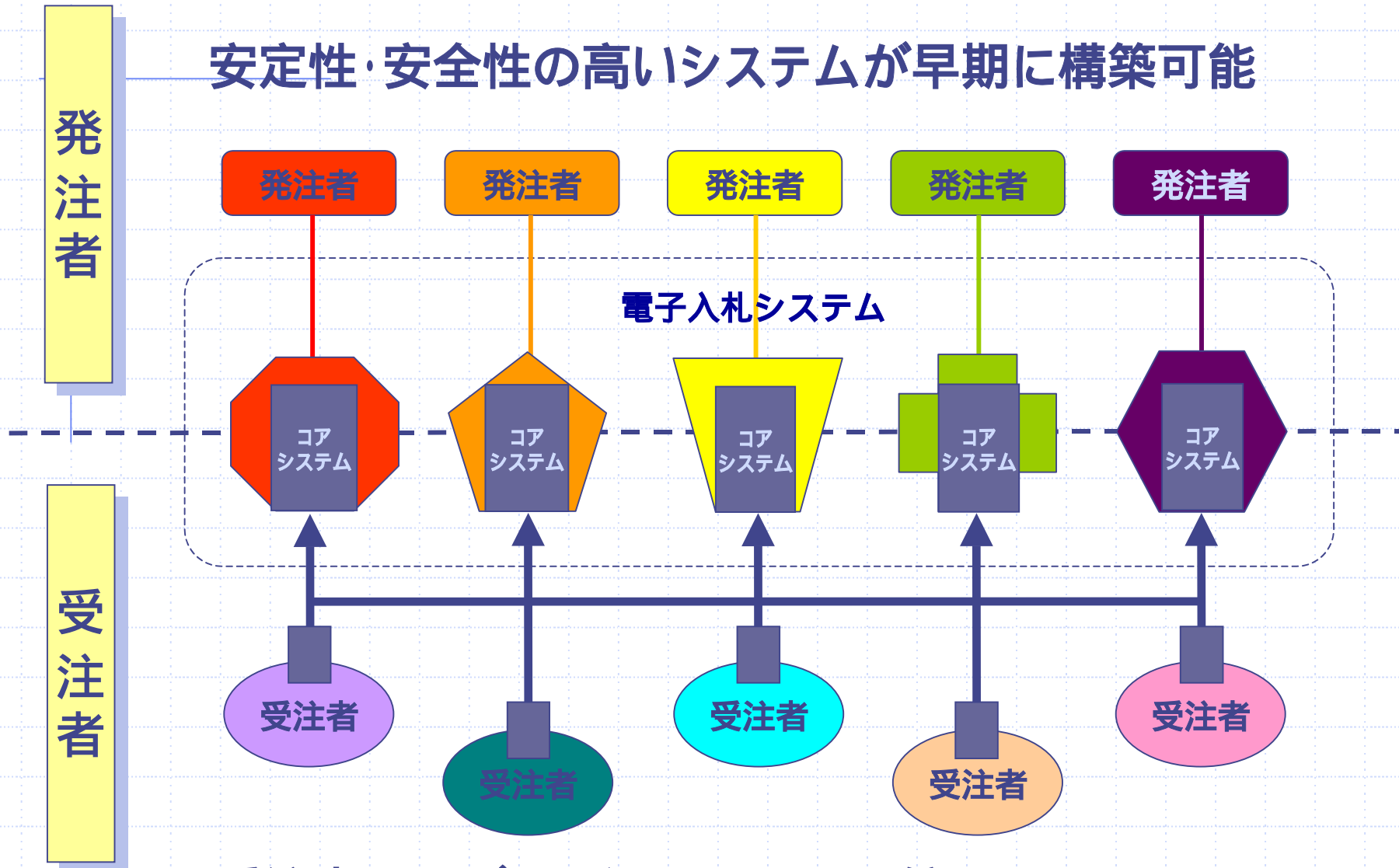


発注機関毎に対応する機器投資 → コスト増加

# 電子入札システムの標準化の必要性

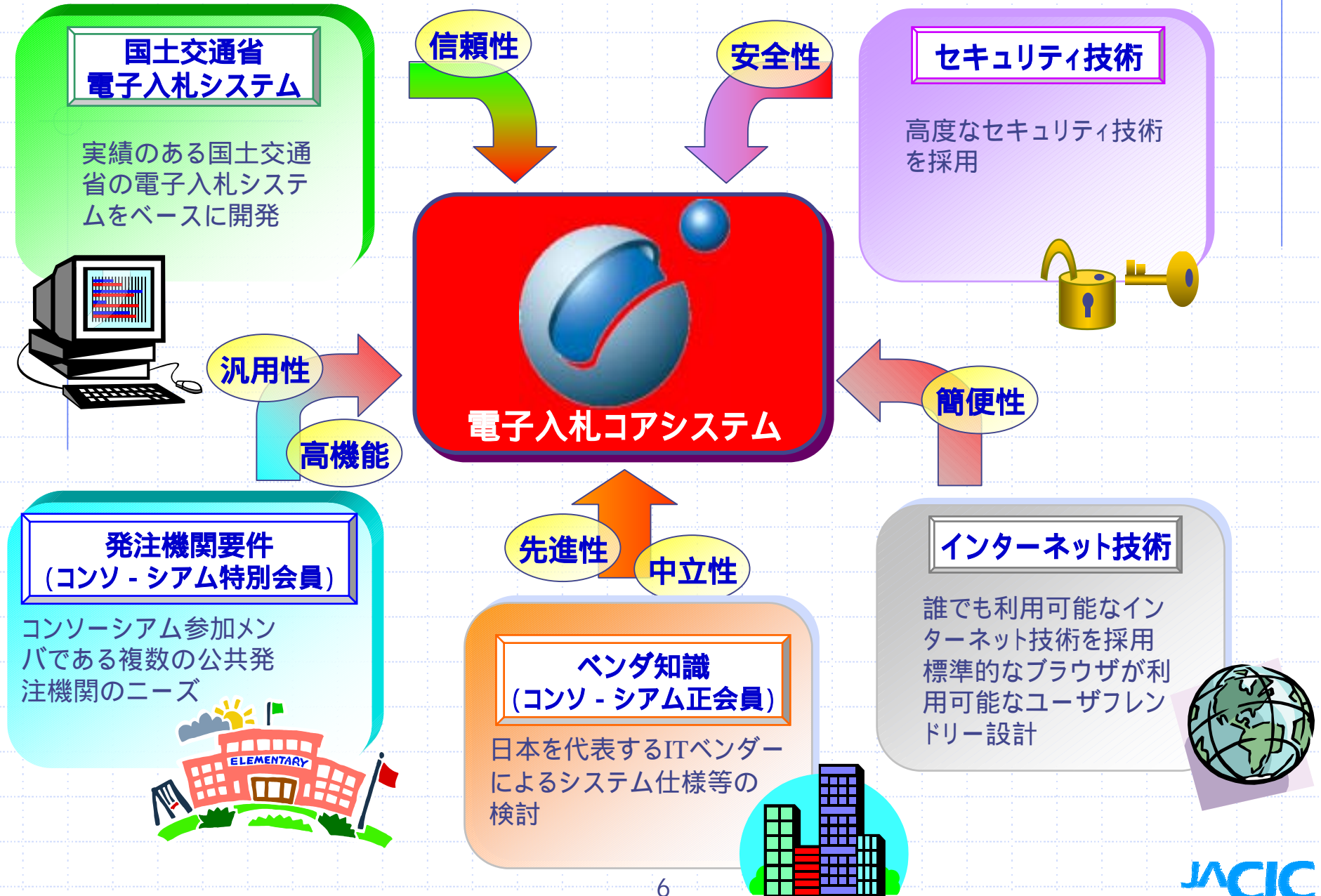
(コアシステムを利用した電子入札のイメージ)

安定性・安全性の高いシステムが早期に構築可能



受注者ユーザインターフェースの統一

# 電子入札コアシステムの特徴

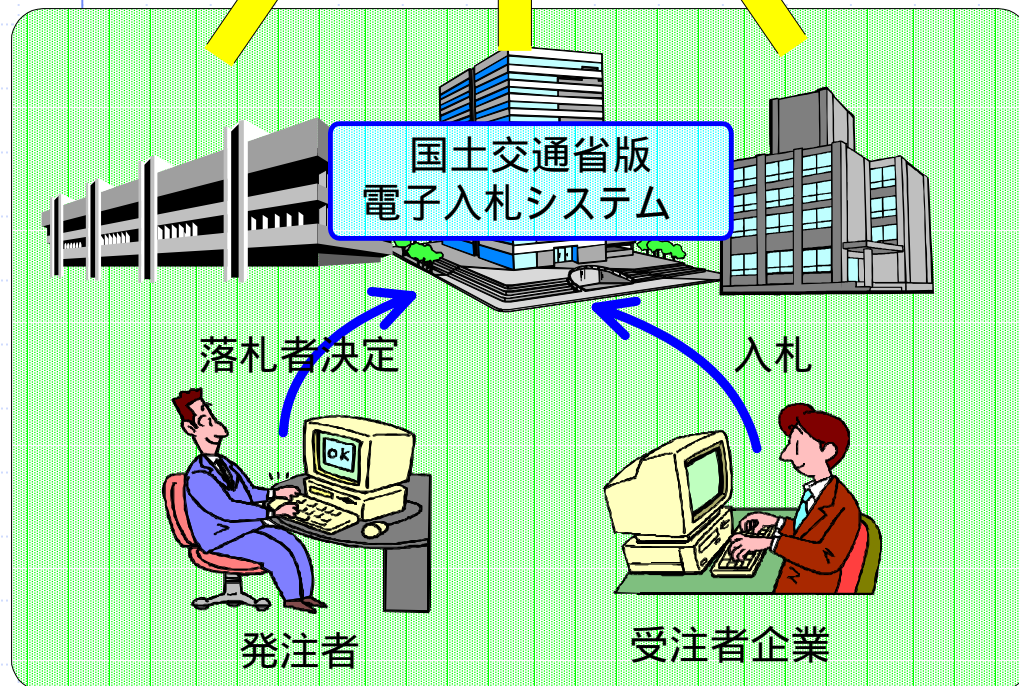




# 国土交通省の9地方整備局、300工事事務所での利用実績を元にしていきます

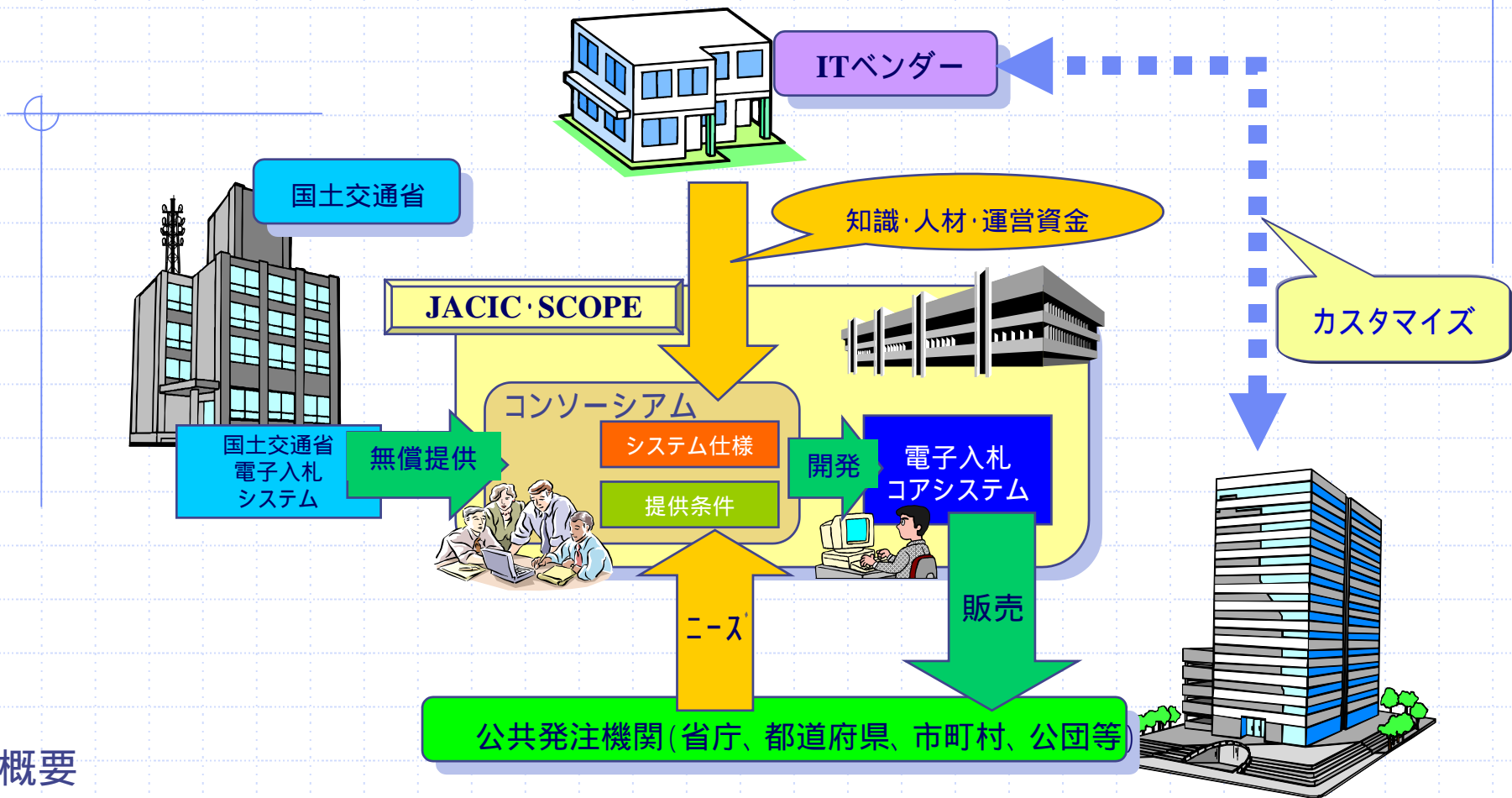
## 電子入札コアシステム

国土交通省での利用実績をシステム開発に反映



国土交通省において運用中の電子入札システムをベースに、受注者・発注者から寄せられた運用時の様々な意見を取り入れた、実践的なシステムに上がっています。

# 電子入札コアシステム開発コンソーシアムの概要



## 概要

- コンソーシアムは電子入札コアシステムの仕様および提供条件を決定
- JACIC・SCOPEがコアシステムを開発、提供条件に基づき公共発注機関に販売
- 公共発注機関は独自仕様に基づき、コアシステムをカスタマイズして電子入札システムを構築
- この結果、公共発注機関において電子入札システムの仕様の統一、開発費の軽減が図られる



# 155団体の要望が反映されています

## 公共発注機関(155団体)

### (1) 国の機関(23団体)

国土交通省、農林水産省、郵政事業庁、防衛施設庁、日本道路公団、日本鉄道建設公団、阪神高速道路公団、首都高速道路公団、水資源開発公団、日本下水道事業団、新東京国際空港公団、都市基盤整備公団、ほか

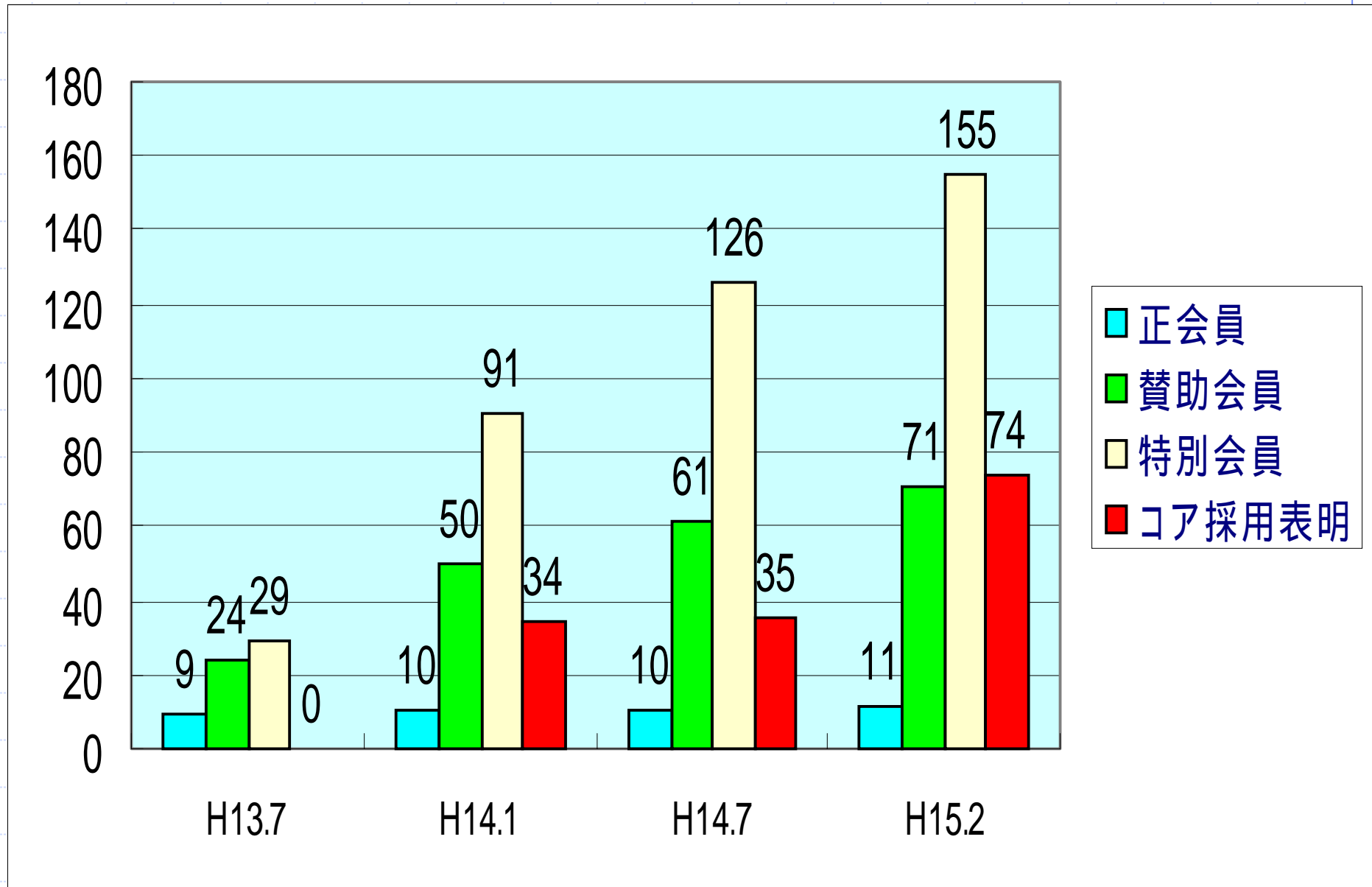
### (2) 地方機関(132団体)

47/47都道府県、12/12政令指定都市、その他、電子入札の導入に熱心な全国の主要都市が73数団体参加

コンソーシアムには、155の国や地方の発注機関が参加して、コアシステムの仕様決定や提供条件の決定に参加しています。

参加団体数はH15.3.5現在

# 電子入札コアシステム開発コンソーシアムのメンバー参加推移



公共発注機関の特別会員への参加をお待ちしています。10

# 国土交通省（平成14年度）との相違点

平成15年度より、電子入札システムが新しく変わります

## 新システムの主な変更点

- 1) 複数認証局対応
- 2) Internet Explorerが利用可能
- 3) 開札時のサーバ自動更新
- 4) 電子入札に参加できる者

平成14年度

- 企業の代表者
- 経常JVの代表者

平成15年度

- 企業の代表者
- 代表者から入札権限等を委任されている者

代表者から入札・見積権限及び契約権限について年間委任状により委任を受けている必要がある。

最新情報は国土交通省及びe-BISCセンターのホームページで確認下さい。

# 電子入札（応札者画面例：入札書作成）

発注機関  
マーク・名称

GUIガイドラインにより基本構成を統一しています。

EBCSマークにより正規の電子入札サイトであることを確認できます。

国土交通省  
2003年01月09日 20時24分  
CALIS/EC 電子入札システム

入札情報サービス 電子入札システム 検証機能 説明要求

関連案件検索  
関連案件一覧  
入札状況一覧

### 入札書

発注者名称	A地方整備局
関連案件番号	00200820202002****
関連案件名称	A地区共同溝工事
執行回数	1回目
締切日時	平成15年01月05日 12時00分
入札金額 (入力欄)	(表示欄) 1,080,000,000 円(税抜き) <b>10億8000万円 円(税抜き)</b>
内訳書	D:\解添付資料\Fuchisake.xls
企業ID	000000000000028
企業名称	〇〇建設
代表者氏名	山〇 太郎
<連絡先>	〇〇建設
連絡先名称	〇中 次郎
氏名	千葉県習志野市
住所	047*****
電話番号	****@narumaru.co.jp
E-Mail	

印刷 入札書提出 戻る

EBCSマークの意味  
電子入札コアシステムHPへ  
EBCSマークHPへ  
マークチェック

入札金額には単位表示がされるので、入力ミスを防げます。

# 電子入札（応札者画面例：発注者の作業状況確認）

入札状況一覧

2003年01月20日 14時59分 CALS/VEC 電子入札システム

入札情報サービス 電子入札システム 機能機能 説明書

調達案件番号: 00000000000000  
 企業名称: 建設株式会社  
 代表者氏名: 代表 太郎

電子案件 ID: 00000000000000  
 企業ID: 00

最新表示

最新更新日時: 2003.01.20 14:05

案件番号	調達案件名称	入札方式	入札/開札/開札/開札	通知種別						状況	
				入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札		
1	建設工事	一般競争入札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	状況
2	建設工事	一般競争入札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	状況
3	建設工事	一般競争入札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	状況
4	建設工事	一般競争入札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	状況
5	建設工事	一般競争入札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	入札/開札/開札/開札	状況

入札状況一覧画面の「状況表示ボタン」で、発注者の作業状況が確認できる。

作業状況確認

2003年01月17日 10時07分 CALS/VEC 電子入札システム

電子入札システム 機能機能 説明書

自動最新取得 ON

最新更新日時: 2003.01.17 10:57

調達案件番号: 00000000000000  
 調達案件名称: 建設工事

案件状況: 開札執行済み(未開封無し)

作業状況:

戻る

発注者の開札状況が送信される(自動)  
 (例)・開札執行済み  
 ・執行担当署名済み 等

## 2 . 電子認証



# 電子署名法（2001年4月1日施行）

## 「電子署名及び認証業務に関する法律」

### 電磁的記録の真正な成立の推定

電子署名が手書きの署名や押印と同等に通用する法的基盤を整備。  
本人による一定の要件を充たす電子署名が行われた電子文書等は、真正に  
成立したもの(作成者が作成したものである)と推定。

### 認定制度の導入

認証業務に関し一定水準を充たすものは、国の認定を受けることができ、  
認定を受けた業務についてその旨表示できる → **特定認証業務**  
(認証業務における本人確認等の信頼性を判断する目安を提供)

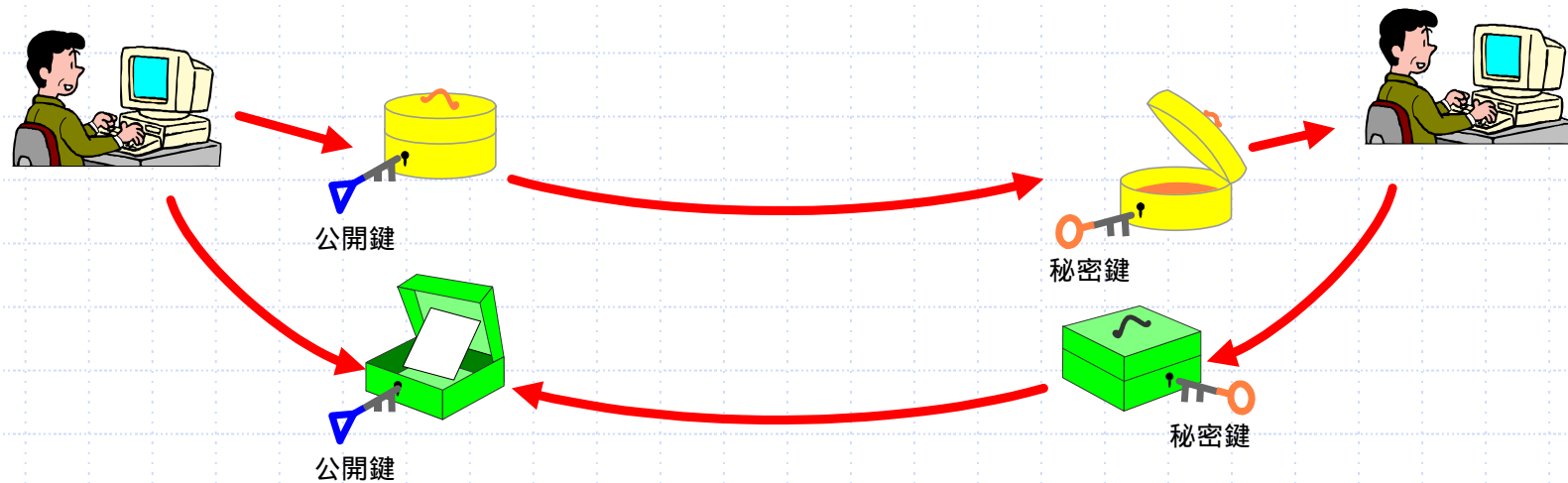
### 罰則

利用者が認定認証事業者等に不実の証明(他人になりすまし)をさせる行為  
について、3年以下の懲役又は200万円以下の罰金に処する旨規程。

経済産業省 <http://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/digitalsign-press.pdf>

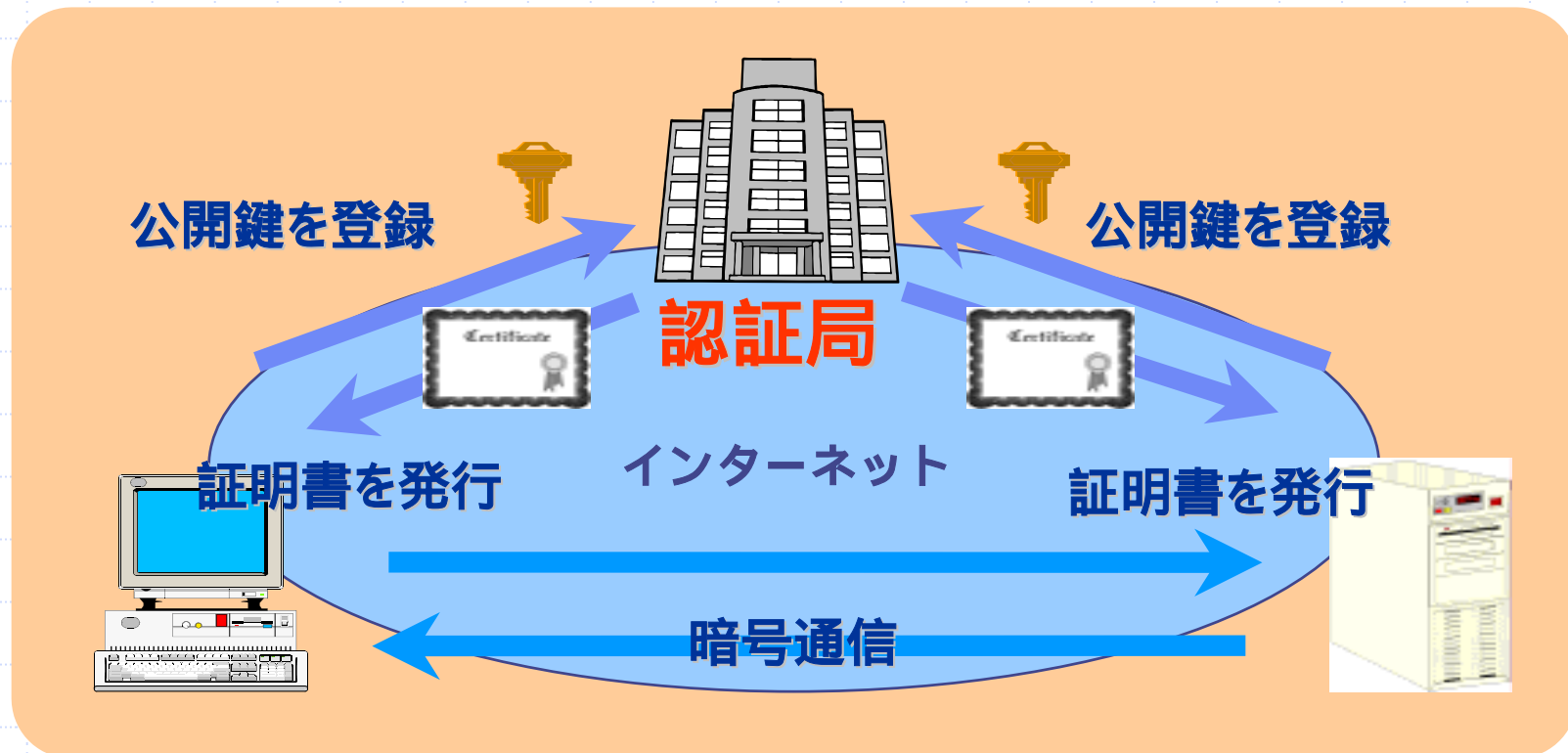
# 公開鍵と秘密鍵

公開鍵でかけた(暗号化する)ものは秘密鍵のみで開けら(復号さ)れる。  
秘密鍵でかけた(暗号化する)ものは公開鍵のみで開けら(復号さ)れる。



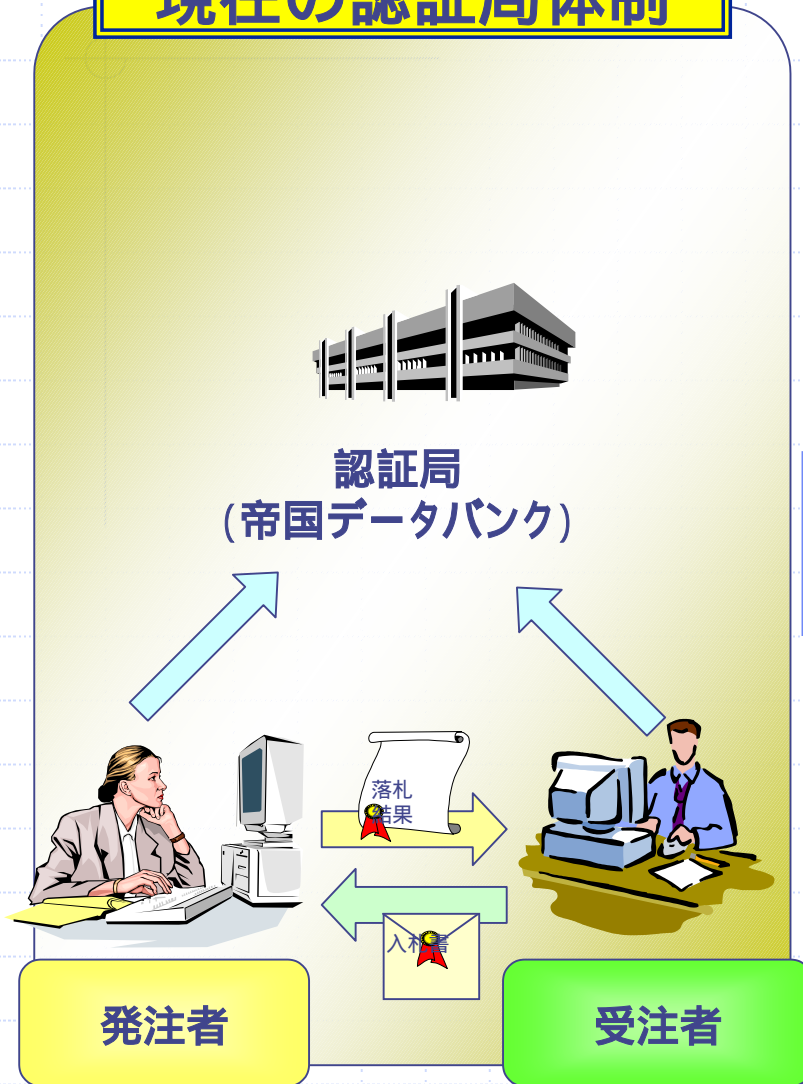
# 認証局の役割

- **公開鍵**が確かにその人のものであることを**証明する機関**
- **認証局 (CA)**は、個人の情報と公開鍵に署名し、**証明書**を**発行**

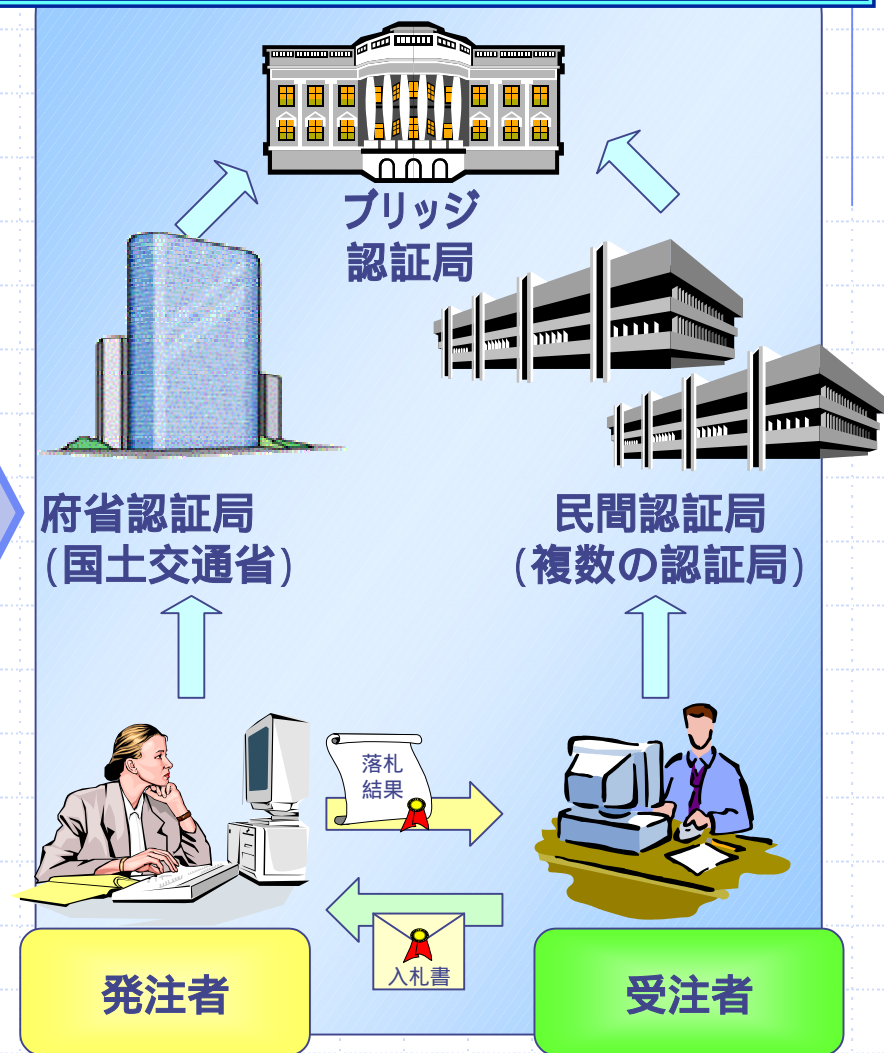


# 電子入札システム対応認証局

## 現在の認証局体制

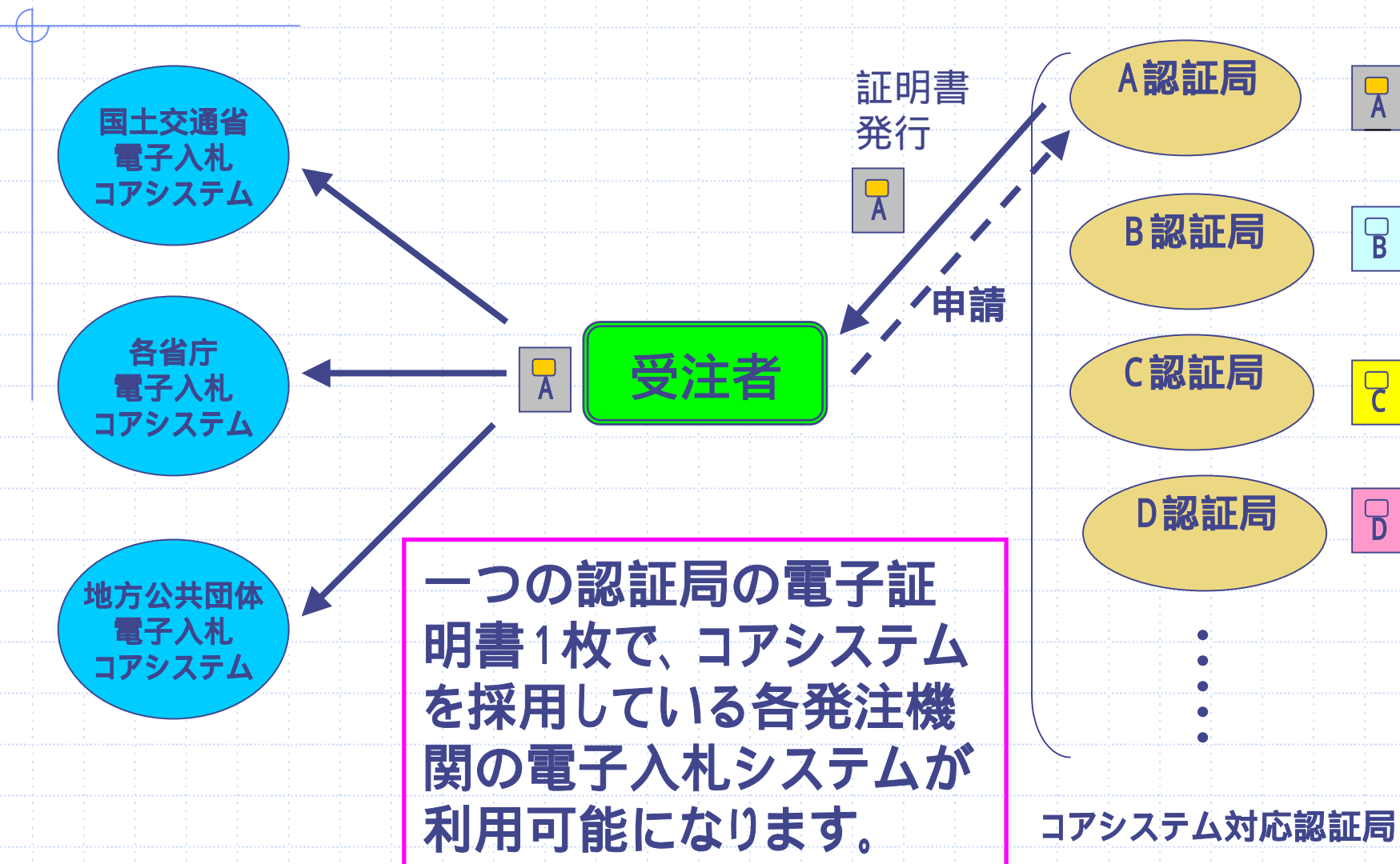


## 平成15年度以降の認証局体制



# 電子認証局関連（受注者準備）

◆ 受注者は平成15年度より、複数の認証局から選択可能



# 2003年度以降に向けた複数認証局への対応

平成15年3月17日現在

認証事業者名(サービス名)	営業開始日
日本電子認証(株) (AOSignサービス)	平成14年11月1日
エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ(株) (e - Probatio PS)	平成14年11月21日
東北インフォメーション・システムズ(株) (TOiNX電子入札対応認証サービス)	平成14年12月24日
(株)サイバーウェイブジャパン (CWJ電子入札対応認証サービス)	平成15年1月20日
(株)帝国データバンク (TDB電子認証サービスTypeA)	平成15年2月6日
国際認証センター(株)	(未定)
ジャパンネット(株)	(未定)
日本商工会議所 (ビジネス認証サービスタイプ1)	平成15年3月12日

コアシステム対応認証局の問い合わせ先一覧はJACICホームページを参照

<http://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/ninsyo.html>

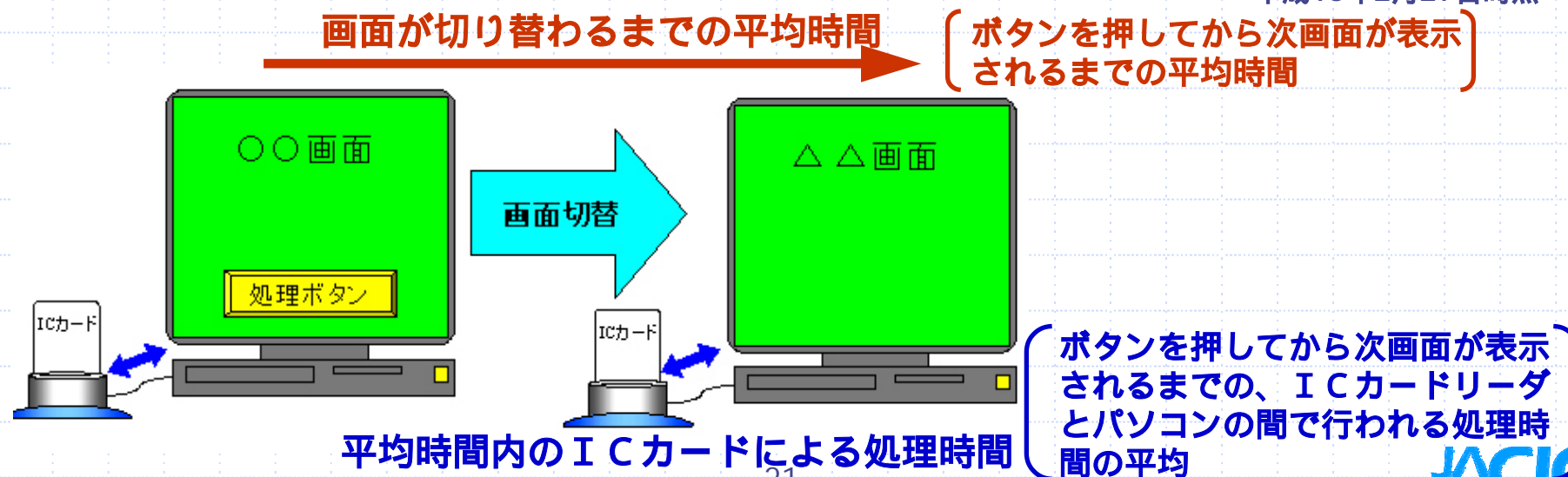




# コアシステム対応認証局・性能測定結果

認証局名	性能値	性能測定日	接続稼動確認日
日本電子認証株式会社	14.16秒 ( 2.09秒)	10月28日	9月 4日
ジャパンネット株式会社	14.96秒 ( 1.32秒)	2月21日	9月25日
国際認証センター株式会社	16.66秒 ( 4.47秒)	10月29日	9月27日
東北インフォメーション・システムズ株式会社	16.74秒 ( 2.25秒)	2月 4日	9月30日
エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社	16.92秒 ( 2.11秒)	2月 5日	9月11日
株式会社サイバーウェイブジャパン	17.16秒 ( 3.52秒)	2月18日	9月10日
株式会社帝国データバンク	19.02秒 ( 5.28秒)	2月19日	9月24日
日本商工会議所	19.32秒 ( 7.30秒)	10月21日	9月 6日

平成15年2月27日時点



# 電子入札関連HPの紹介

国土交通省

<http://www.mlit.go.jp>

国土技術政策総合研究所

<http://www.nilim.go.jp>

e-BISCセンター

<http://www.e-bisc.go.jp>

入札情報サービス(建設)

<http://www.ppi.go.jp>

(港湾、航空)

<http://www.pas.ysk.nilim.go.jp>

(財)日本建設情報総合センター

<http://www.jacic.or.jp>

CORINSホームページ

<http://www.jacic.or.jp/corins>

TECRISホームページ

<http://www.jacic.or.jp/tecris>

電子入札コアシステム開発コンソーシアム

<http://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/index.html>



完

ご静聴有難うございました

(財)日本建設情報総合センター

<http://www.cals.jacic.or.jp>